

## 大腸内視鏡検査（大腸カメラ）を受けられる患者さんへの説明

1. 大腸カメラをするには前処置（大腸から便をなくしておくこと）が必要です。下剤の内服、食事の変更については別紙（予約票）で説明します。
2. 検査直前に、大腸の動きを抑える鎮痙剤を注射します。注射の影響で、口が渴いたり、動悸がしたり、目がちかちかしたりすることがありますが心配ありません。また、検査途中、痛みが出るようなら鎮痛剤を追加します。この注射の影響で、眠くなったり、咳が出たりすることがありますが心配ありません。ご希望があれば鎮痛剤を最初から使用することもできます。
3. 検査台に左横向きに寝て頂き、肛門にゼリー状の麻酔薬を塗って内視鏡を挿入します。挿入時はほとんど空気を入れません。適宜、体位変換やお腹の圧迫を行って挿入を補助します。大腸の一番奥（盲腸）まで挿入したら、引き抜きながら大腸全体を観察します。病気が見つければ小さな組織を採取して（生検といいます）、病理検査に提出します。大腸に空気を入れて膨らませて観察するのでお腹が張ります。張り苦しくなったらガスを出すと楽になります。検査時間は 30 分程度です。
4. 腹部の手術（子宮筋腫や胃・大腸・胆嚢などの手術）を受けたことのある方や腹膜炎の既往のある人、その他腸管が非常に長い人では、内視鏡の挿入時に痛みが強く出る場合があります。この時、無理に挿入すると腸管穿孔（腸に穴があくこと）を起こす場合があります。無理な挿入は行いません。他の検査方法（大腸レントゲン検査など）を連携病院で後日お願いすることもありますので、ご了解ください。
5. 偶発症について：肛門の麻酔薬や鎮痛剤・鎮痙剤などの薬物によるアレルギー反応やショック、内視鏡操作や生検によっておこる出血や穿孔などが主な偶発症です。下剤による腸管穿孔も稀に報告されています。また極めてまれに、脳梗塞や心筋梗塞の報告があります。日本消化器内視鏡学会が調査した全国集計（2000年）によると、偶発症の頻度は0.04%、死亡率は0.00081%でした。万一、偶発症が発生した時は、連携病院にて外科的処置を含めた最善の処置をいたします。
6. 注意点
  - ① 心臓の疾患や脳血管障害などにより血液をかたまりにくくする薬剤（抗血栓薬 バイアスピリン、ワーファリン、プラザキサ、パナルジン、プレタール、プラビックス、エパデルールなど）を内服中の方は、検査前からその薬剤の中止をお願いいたします。中止期間については看護師から説明いたします。現在、他医でこれらの薬を処方されている場合、薬を中止してもよいか、主治医とご相談ください。心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高くて抗血栓薬をやめられない時は、観察のみとなります。生検の必要な病変が見つかったときは、後日、出血時の対応のできる連携病院をご紹介します。
  - ② 鎮痛剤を使用した場合、検査後の車の運転は危険ですのでお控えください。その他、疑問点がございましたら医師または看護師にお尋ねください。

## 大腸カメラはどうやって受けるのか、受けた後は？

### 1) 検査前日（前処置）：

- \* 検査前日は検査食を食べます。
- \* 検査前夜、21時に指定の下剤を飲みます。

### 2) 検査当日：

- \* 朝食はとらないでご来院ください。
- \* 検査中、鎮痛剤を使用することがあります。鎮痛剤を使った場合、その日は車の運転はやめていただいておりますので、車を運転しての来院はお控え下さい。
- \* 持参していただくもの
  - ① 大腸カメラ検査予約票（この紙）および検査説明・同意文書（サインをお願いします）
  - ② 診察券、タオル、ティッシュペーパー、お水あるいはお茶を1リットル以上
- \* 検査当日、特別な注意がない限り常用の薬はお飲み頂いてもかまいませんが、6時までにお飲みください。
- \* 経口腸管洗浄液をゆっくりとのんでいただきます。途中から排便が始まります。固形便がなくなり、排便しても出ないか、ほぼ透明な黄色の水様便になったのを確認させていただいてから検査を行います。きれいにならない場合、洗腸を追加する場合があります。

### 3) 検査の実際：

- \* 説明・同意文書をご覧ください。

### 4) 検査後

- \* 30分から1時間ほどお休みいただきます。検査中、大腸に空気が入ってお腹がはります。検査後、時間が経てばガスが出て楽になります。なかなか張りがとれない場合、体の向きを横向き、腹這いなどに変えると、ガスが出やすくなります。
- \* 検査結果は当日お話しします。生検なしの場合は最終結果となります。生検ありの場合、病理結果が出るのに1週間かかりますので、最終結果は1週間以降になります。
- \* 鎮痛剤を使用した場合、検査当日は車の運転など危険を伴うことはおやめください。
- \* 生検をした場合、当日アルコールは飲まないでください。風呂はシャワー程度にしてください。
- \* 色素を使った場合、便や尿が青色になったりすることがありますが心配ありません。
- \* 検査前から中止していた抗血栓薬（バイアスピリン、ワーファリンなど）は、生検なしの場合は翌日から再開していただいかまいません。生検ありの場合は、出血がない場合、翌々日から再開していただいかまいません。
- \* 検査後、血便がでる、おなかが痛くなってよくなるなど、変わったことがありましたらご連絡ください。

連絡先；中村内科クリニック 電話；診療時間内 052-414-4431、時間外；090-5608-6216